

図書館だより 3月号



3月のスペシャル展示コーナーのテーマは、「春休みにおすすめの児童書」です。

春にふさわしいワクワクするような、楽しい絵本や児童文学を集めて展示いたします。

花がたくさん咲くボル村で、春の訪れとともに始まるサーカスの季節を描いた絵本「ボルむらのはる」は、ページをめくると、美しい挿し絵で花のサーカスの様子が描かれています。そのほか、春から1年生になる「ゆうくん」がドキドキしながら学校へ行くと、とても楽しい学校生活でホッとのお話「あしたから1ねんせい」の絵本など、新学期を迎えるお子さん向けの本も展示します。どうぞ展示コーナーをご覧ください。



図書館からのおねがい

◎お引越し・転居の前に、図書館で借りているものがないか、ご確認をお願いいたします。

転勤や進学などで、現在お住まいの場所を離れる方もいらっしゃると思います。荷物の整理などが忙しく、図書館で借りている本やDVD・CDなどを返し忘れていたりしませんか？ 返し忘れていたものがありましたら、お引越し前に、図書館へご返却をよろしくお願いいたします。

図書館の開館時間内に来館できない場合は、図書館玄関横に、『返却用ポスト』がありますので、そちらへご返却ください。ただし、DVDなどの視聴覚資料は『返却用ポスト』に入れると、ケースや本体が壊れてしまう可能性がありますので、開館時間内にカウンターへお返しくださるようお願いいたします。

♪ 今月のピックアップ

◎「クジラが歩いていたころ」

ドゥーガル・ディクソン：作／ハンナ・ベイリー：絵 化学同人



約5000万年前、クジラの祖先が陸を歩いていたなんて想像できますか…？生物はどのような進化をたどって、今の姿になったのでしょうか。初めに現れた生物から、陸へと歩み始めた動物たち、爬虫類、恐竜、鳥など…進化がなぜ起こっていったのかが、順を追って、色鮮やかなイラストで大変わかりやすく描かれています。子どもから大人まで楽しめる、多様な生命の進化の過程を描いた読み応えのある一冊です。自分で読むなら小学校高学年くらいから。

◎「百年後を生きる子どもたちへ」 豊田 直巳：写真・文

一般社団法人 農山漁村文化協会

東日本大震災による原発事故の影響で、住み慣れた故郷を離れて生活する浪江町津島の人々取材した本です。一時帰宅するたびに荒れていく我が家や田んぼ。でも、100年後か150年後、誰か子孫が帰るかもしれない。散り散りになった同じ地区の仲間と共に、未来の子孫へ故郷のことを伝えるため、津島の人々がしたこととは…？



